

当報告の内容は著者の著作物です。

KKLO・マレーシア サバ州の言語に関する共同研究ワークショップ

報告要旨

日時：2018年8月13日(月)-17日(金) 9:00-17:00 場所：The Loft IMAGO, Kota Kinabalu

主催：

- ・基幹研究—人類学（連携研究体制）
- ・基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築 (LingDy3)」
- ・日本学術振興会 国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「国際ネットワークを活かした危機言語・少数言語の調査研究を主体的にリードする研究者の育成」(英語名：Developing human resources taking the lead in research on endangered and/or minority languages in an international network)
- ・科研費基盤(C)代表者 野元裕樹「マレー語地域変種における受動文のマイクロ変異研究とコーパス・語彙資源開発」

使用言語：マレー語、英語

塩原朝子 (AA 研所員)

マレーシアサバ州には数多くの少数言語・および興味深いマレー語の方言が話されている。このワークショップでは、日本の研究者とマレーシア・インドネシアの研究者が共同でサバ州の言語の調査・研究を行った。

- ・コタキナバル近辺で話されている言語の社会言語学的調査
- ・これまでに収集したサバ州およびサラワク州で話されているマレー語の変種（コタキナバル・マレー、バルネイ（ブルネイ）・マレー、サラワク・マレー）のデータの分析・アノテーション
- ・上記データのコーパス化に関する作業